

S S K P

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



いずみ

No.
184

2017年3月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722
info@izumikai.jp http://izumikai.jp/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一七年二月七日発行(S S K P 通巻六五四〇号)



「似てるかな？」(岡本福祉作業ホーム)

● 本年度の聖句
主は人の一歩一歩を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。
人は倒れても、打ち捨てられるのではない。
主がその手をとらえていてくださる。

(旧約聖書詩篇37編23―24節)



先の見えない実験の開始

理事長 佐分利 正彦



昨年11月以来、アメリカの新大統領の話
がニュースに取り上げられない日はないと
思われます。私は40年ほど前に、1年余りア
メリカで暮らしましたが、その時感じたこと
の1つは、アメリカ人は何でも気軽に「やっ
てみる(トライする)人たちだということでした。それにし
ても、今回の「実験」(あえてこの言葉を使います)には、気がかり
な点が多いようです。

気がかりなことの一つは、新大統領が客観的事実を、それが
気に入らない場合には、受け入れない点です。代表的な問題が、
地球温暖化に関する対応です。彼は大統領選の中でも、地球温
暖化は嘘だと公言していましたが、当選後は、二酸化炭素排出
抑制の流れに逆行するようなエネルギー政策を発表しました。
地球温暖化の影響は、すでに地球のあちこちで目立ち始めてい
ます。10年、20年後にはもっとハッキリと認められるようにな
るでしょう。温暖化の影響は、私たちの子供や孫の世代に、予想
できない大きさで及ぶとされています。そして、その影響を強
く受けるのは、地球上の弱者(太平洋の島国、アフリカの諸国な
ど)であって、原因物質を大量に発生させている大国ではない
のです。

もっと気がかりなことは、いわゆる「核のボタン」のスイッチ
が新大統領に委ねられていることです。このことについて、多
くを語る必要は無いでしょう。彼の任期中に、その存在が意識
されるような事態が起こらないようにと祈るのみです。

大統領選の後のある対談の中で、サンダース上院議員は、以
下のように述べています。「これから大切なことは、社会的に恵
まれない立場の人々が、真に自分たちのために働いてくれる代
表者集団を選びなおし、社会を変えてゆくことだ」と。

このことは、日本にも当てはまることだと受け取りました。

共生社会の実現をめざして

泉会では、第4期泉会3か年計画を策定しました。2017年(2019年)までの計画は次のような特徴をもった計画です。

- 1 目指すべき法人の姿を設定し、世田谷エリア・日の出エリアにおいてその実現の取り組みを地域との協同により推進します。
- 2 課題と中期目標を掲げ、法人の役割を明確にして進めます。
- 3 達成すべき重点課題を設定し見通しをもって取り組みを進めます。

5つの重点課題について

- ・ 次の課題を重点課題として優先的に取り組んでいきます。
- ・ サービスの質の向上
- ・ 地域における公益的な取組の推進
- ・ 利用者・地域と共に歩むための情報発信
- ・ 人材の確保に向けた取り組みの強化
- ・ 法改正による組織の再構築

社会福祉法人泉会 3か年計画 概要版

(2017年～2019年度)

| 目標： 経営理念に基づく共生社会の実現 | | | |
|---|---|--|--|
| 中期計画の課題領域 | 重点課題 | 重点事業 | 中期目標 |
| I. 利用に対する基本姿勢 常に経営理念に立ち戻り、一人ひとりの人権を尊重した活動を行う。 | ①サービスの質の向上 | ①安全安心な福祉サービスの提供 ②サービス提供体制の再構築と運用 | ・サービスの自己点検と改善 ・業務手順・マニュアルの検証と改善 ・リスクマネジメント体制の継続 |
| II. 社会に対する基本姿勢 地域の実情・利用者ニーズに合わせて、制度と公益活動によって他機関と連携したサービスを展開する。 | ①地域における公益的な取り組みの推進 ②利用者・地域と共に歩むための情報発信 | ①公益的取り組みの推進 ②様々な情報発信の取り組み | ・はたらくサポートとうきょう参加 ・世田谷区社会福祉法人地域公益活動協議会への参加 ・ホームページによる積極的な情報発信 |
| III. 福祉人材に対する基本姿勢 地域住民のニーズに対応できる人材を確保する。 | ①人材の確保に向けた取り組みの強化 | ①適切な広報媒体等の活用 ②福祉の仕事啓発の情報発信 | ・様々な採用ツールの確保 ・福祉教育への積極的協力 |
| IV. 経営に関する基本姿勢 地域に必要とされる事業経営を行う。 | ①法改正による組織の再構築 | ①地域環境に対応できる競争力のある法人組織 ②事業を積極的に推進する組織づくり | ・評議員会の機能強化 ・理事会の機能強化 ・事業経営の透明性の確保 |

泉会の新しい風

泉会では、これまで経営改革を推進してきた施設長がそろって定年を迎えます。3月末に岡本福祉作業ホームと日の出舎の施設長がその役を降り、新しいリーダーにバトンを渡すことになりました。事業を継続し、法人が地域に貢献できるようにご支援・ご協力をお願いいたします。



日の出舎
森敏彦 次長

私が日の出舎に勤務して2017年4月で6年目になります。

実は1995年4月に岡本福祉作業ホームに入職し、泉の家と合わせて11年職員として勤務させていただきましたが、一身上の理由で故郷である長崎に6年間戻っております。

私が泉会に復職し日の出舎勤務となっても、岡本福祉作業ホームや泉の家にいたころの利用者さんとお会いする機会がありますが、気軽に声を掛けていただきとてもうれしく思いました。私が長崎に戻っていた時は、福祉とは関係ない設計業の仕事

をしていましたが、そこで感じたのは、障がい者に理解の無い人たちがいかに多いかという事でした。心のバリアフリーとよく言いますが、建物などはバリアフリーは進んでいても、一番大切な心の方は進んでいないのが現実です。それを福祉から離れてみて実感しました。



日の出舎
高橋健輔 次長

平成29年度より、相談日の出舎及びグループホームのぞみの施設長という大役を仰せつかる事となりました高橋でございます。

私が泉会日の出舎に入職したのは2011年9月ですので、まだ5年程前のことです。ちょうど日の出舎が新しい建物に移る時で、

求人広告の完成予想図を目にした「できたばかりの綺麗な建物で働くのもいいなあ」という不純な動機もあり、日の出舎の門をくぐった事を思い出します。それまで、同じ福祉職でも高齢者福祉の仕事をしていた私にとって、障がい者福祉の仕事は『似て非なる』ものであり、利用者支援的にも制度的にも『畑は同じでも、作っている作物は全く違う』この仕事に未だ戸惑い、アタフタしております。

そんなまだ『駆け出し』の私なので、正直施設長は荷が重すぎると感じております。今は不安感ばかりで、自信の欠片もありませんが、いつか肩書きに実力が追いつく事ができる様、努力していこうと考えております。

まだまだ未熟な私ですが、皆様のご指導とご鞭撻を賜ります様、何卒、よろしくお願い申し上げます。



岡本福祉作業ホーム
福田公英 次長

「頑張っている人達を応援出来るような仕事をしたい」単純な気持ちで、14年前、私は福祉職に転職しました。入職当初から人との触れ合いが新鮮で楽し

く、同時に、思っただけでは動まない難しさも知り、悩みも多々、自分の甘さを日々感じていた毎日でした。

そのような中、私を支えてくれたのは、周りにいた方々でした。私は、常に考える事がありません。自分は出会う人に恵まれている、人より得をしている。幼少の頃から、現在に至るまで、泉会に入ってから出会った方々にも恵まれていることを日々実感しています。そのような思いを、皆にもしてもらいたい、そういう存在になりたい、皆様から「出会えて良かった」と思われる人材を育てられるようになりたい、そのような事を今は考えています。

前任の鈴木施設長は、長年に渡り、泉会を支え、地域社会との信頼関係を構築してきた方です。今の私では遠く及ばず、その責任の重大さに、この大任が務まるか、不安でいっぱいです。

まだまだ頼りなく、これから、皆様に教えを請うことや、不慣れな部分もありますが、お力添えをいただき、謙虚に、熱意を持って一歩ずつ近づけるように努力を重ねていきたいと思っております。

日の出舎

日の出エリアの事業所を通所利用する方には、希望により可能な限り送迎支援のサービスをしています。私の知る限りの24年前前はマイクロバスの送迎でしたが、排気ガス規制や、その後、車いすの方も通所することとなるため、リフト付きの車両となり、現在は4台で運行しています。あきる野方面のAコース、日の出町・五日市方面のBコース、福生・羽村・青梅方面のCコース、あきる野市にあるグループホームのDコースの4コースがあります。プロの送迎バスとは異なりますが、就労日の出勤・日の出舎では、職員が自前で



日の出エリア通所送迎風景

施設公用車で送迎支援をしています。送迎支援にあたっては、利用者の自己負担費用も求めません。昨年12月19日現在、登録利用者は26名です。利用者のご意見を聞く、助かっているという方もあれば、無口な運転手のことを指摘する方、当たり前というような方もあるようです。みなで協力病院の送迎車に手を振って挨拶することもあります。

私は1992年から日の出舎にお世話になっていますが、以前はリフト付きの車両はめずらしく、体重が80キロ超えの方も抱えて車の移乗介助をしました。90年はなんと「国連・障害者の十年」の10年目の年です。82年に採択された「障害者に関する世界行動計画」を実施推進するために宣言されたこの十年の期間は社会に大きな変化をもたらし、路線バスや公共の建築物などのバリアフリー化等で、社会のノーマライゼーションが広がりました。国連の行動計画はまことに輝かしい文章で心に迫り、気合も入りました。

日の出エリアの各職員は互いに

泉の家

泉の家では宮園自動車に依頼し、2台のマイクロバスと1台のワゴン車で利用者の送迎を行っています。利用者の安全を第一に、毎日決まったルートを走っています。ご家族と相談・調整し皆さんに満足いただける時間とルートを作成するのは、なかなか大変な作業になります。乗車時間の長い方でも、身体に負担がからないように1時間半以内で到着できるように配慮しています。車内での飲食禁止といったルールも利用者の安全のためには欠かせません。また車内に毛布を用意してくれたり、楽しい会話で盛り上げてくれたりと、気配りも欠かせません。しかも、宮園自動車は行きと帰りの送迎だけではありません。外出活動の送迎や作業の手伝いも引き受けてくださるとも頼もしい存在なのです。

施設行事では、八景島シーパラダイスやお台場への日帰り旅行は宮園自動車の送迎バスで出かけて

います。また、施設公開行事ではいつも駐輪場の整理やコーナーの手伝いをしてきています。今回振り返って、いろいろな場面でお世話になっていると感じました。宮園乗務員の皆さん、本当にありがとうございます。(河村 津子)

岡本福祉作業ホーム

今年度から岡本福祉作業ホームには、施設付のバス(宮園自動車)が導入されました。既存の「ふれんどバス(世田谷区内巡回バス)」と共に利用者のご自宅への送迎や納品先への送迎などに活用しています。また今までは、区内巡回バスであったため外出活動にも時間的制約があったのですが、今年度からは、外出活動も盛んに行われています。横浜(横浜中華街ぶらりクラブ)、お台場(ヴィーナスフォートぶらりクラブ)、町田(スウィーツパラダイスクラブ)、埼玉(大宮(鉄道博物館クラブ)など一年を通して様々な場所への送



日の出エリア通所送迎風景2

事業連携して、確かに通所送迎に限定されています。が、地域の利用者や移動の自由を保障しているとも言えます。利用する方の自由のほんのごく一端を担う縁に触れているという事は、あの国連の行動計画と照らし合わせるとき、誇らしいことです。

送迎支援に当たる支援員は熟練の運転者ですが、道路状況から交通安全に多大な注意を払っています。利用者間の助け合い協力やトイレへの配慮でコンビニの協力に感謝することもあります。送迎担当の支援課長は課長補佐とともに、長年に亘り安全を第一に通所送迎の運行管理に努め、コースや時間の編成、利用者・家族が安心して利用できるような座席の調整まで苦心していますが、支援の



今日もお仕事お疲れ様です

迎に活用されています。来年度は、今年度の反省点を踏まえ、さらに活動が拡大していくと期待されています。(関口 友則)

玉堤分場

玉堤分場は、宮園自動車、東京福祉バスの2台のバスにお世話になっています。

東京福祉バスの岩瀬さん、金子さんよりメッセージを頂きました。「私達には今だけの楽しみがあります。キンキン冷えた空気と澄んだ空、くっきりと見える富士山！皆さん富士山がみえますよ」



乗務員の皆様・今日も笑顔です

と声が出ます。安全運転第一に、四季の移り変わりを楽しんでもらえるような送迎をしていきたいです。」
宮園自動車の大川原さんは、送迎だけでなく、作業も手伝ってくださり、納品や販売会、イベントなど、すっかり分場の一員として活躍されています。大川原さんから、「利用者の皆さんが気持ちよく安心して乗って頂けるよう心がけています。送迎時間に余裕をもてるように努力しています。ご家族に、笑顔で接しています！」
乗務員の方々の分刻みの運行スケジュールの中にもゆとりを生みだす日々の配慮に、感謝いたします。(半澤 恵理)

常として、ニーズに合わせて年間4、5回の再編成があり、相当苦慮します。確かに1年を通じて、施設の稼働日に通所送迎の支援を展開するのは容易なことではありません。台風もあれば、積雪、凍結もあります。気象予想がむずかしいとき、日の出舎の夜勤に当たった職員が施設屋外の気象等を施設長に報告、相談し、朝6時に休業か否かを判断することもしばしばです。送迎範囲が広いので、曉間の屋外を歩き、地域の積雪・凍結状況なども情報提供します。また急なお休みなどの予定変更による連絡の間違い等、問題があったときは速やかに対応し、次に改善策を立てて実施しなければなりません。日の出地域はこのような支援の積み重ねで、なんとか通所利用の保障をしています。「一日一生」、朝から晩まで、そして施設入所支援では夜勤と、各事業が連携して利用者として一体となつてサービスを展開するのは、これはなにかうれしく、尊いことなのではないかと思ったりします。(高木有己)

岡本福祉作業 ホームだより

「年納会」表紙の写真的エピソード」

12月16日に年納会を岡本ホームで行いました。

この会では普段、お世話になっている方々、お力を貸して下さるボランティアの方々へ利用者、職員が感謝を伝える事が目的なので、お世話になった方々をお客様として岡本ホームへご招待しています。

年納会では出し物として演劇グループがオリジナル劇を披露しました。そのサポートとして特命グループ(大道具、小道具、裏方担当)が作成した大道具が表紙の写真を飾った絵です。お客様の似顔絵を特命グループの利用者が、写真等を見て描き上げました。

話合いの中で、今年度は特命グループが裏方としてお客様へ感謝の気持ちを伝え、喜んで頂けるアイデアは無いかと悩みました。演劇の台本を進めていく内に、劇の中で事件が起きた時に絵画が必要でした。その絵をお客様

(日頃お世話になっていいるボランティアの方々)の似顔絵で作れば喜んでもらえるのではと話し合い、特命グループの利用者は自分の力を最大限に使い絵を本番までに完成させたのです。

さて、そんな出し物はお客様に喜んで頂けたのでしょうか?
表紙の写真をご覧下さい。
(真野 陽介)



演技力、抜群!

日の出舎だより

「2017」春」

新年を迎え、東京都下にある日の出舎では、毎日大変寒い日が続いています。これから益々寒くなってくると思うと、数年前の大雪のことを思い出します。公共交通機関がマヒし、道路も通行できなくなりました。この冬はそんなことが無いように願うばかりです。

はじめ、携わっていただいた多くの下請け業者の方や、設計管理をしていただいている新環境設計には、ここまで順調に建設を進めていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

2月末には(新)作業棟も完成し、4月からは就労日の出舎が(新)作業棟に引越し、就労日の出舎が作業場所として使用していたスペースは、生活介護の日中活動のスペースとして利用できるようになり、そこにはまた新しい仲間が増えることに

労継続支援B型の利用者から歌詞を募り、2番を作りたいと思います。私たちは、ボランティアの方々を支えられ助けて頂いているという事を改めて感じました。これからも宜しくお願致します。(谷垣 幸延)

玉堤分場だより

「冬の体験教室」

玉堤分場では、手作り体験教室を初めてクリスマス時期に開催しました。企画したきっかけは、夏に実施した体験教室に参加してくださったお客様から「体験できる日を増やして欲しい」とお言葉をいただいたことです。12月22日と23日にクッキーとサンドブラストの体験教室を実施し、利用者にはクッキー作りの説明や生地伸ばし、サンドブラストの機械操作など

そんな中、就労日の出舎の(新)作業棟の建設も進み、つい先日、外回りの足場が外されて外見が見えるようになりました。

利用者も職員も、初めて全貌を現した(新)作業棟を見て「思っていたよりも立派な建物だね」とか「完成が楽しみだね」と嬉しい声を掛けてくれます。

これからは建物の内装工事や、外構工事に取り掛かっていくこととなります。建設を請負った大木建設をは

なります。今からそれがとても楽しみです。(山崎 昇)



建設中の就労日の出舎(新)作業棟

グループホーム GHいずみだより

「笑顔とお花に囲まれて」

青山 美明さん
ふとしたことからご縁があり平成18年7月よりGHいずみの方々に「いけ花」を指導させていただきました。

月1度の土曜日に、季節折々の花材を携えて心弾ませながら出向いたものです、生け終わった作品をカメラに収めて笑顔をかわし、お茶をいただく時の色々な会話は楽しく、時を忘れ

ど担当していただきました。

参加されたお子様に「誰にプレゼントするの」と尋ねると「お母さんと自分」と答えが返ってききました。「お父さんは?」と尋ねると「バレンタインに沢山貰ったからあげない」ということでした。思いもよらない返答に驚きましたが、子供は親のことをよく見ているのだと実感しました。お客様の声をもとに新たな試みを実践につなげたことで、地域の方と交流する機会を増やすことができました。今後も参加者の声に耳を傾けながら実践していきたいと思

います。(石黒 貴之)



クッキーの型抜きと生地の伸ばし

て過ぎました。

3年過ぎた頃、赤坂ギャラリーにおいて「いけ花展」を開催しました。地元の花材をいただいて生け上げた作品は好評で、初めて経験された皆さんにも喜ばれて嬉しいことでした。

いけ花の経験61年間で最も印象深く残っているのは明治神宮への献花です。生け終わった後拝殿の中に招かれて祝詞をお聞きする厳かな雰囲気は貴重な経験でした。図らずも赤坂ギャラリーでのいけ花展は、私的な展示会としては最後の催しとなり、この上無く大切な思い出として残っております。

お稽古始めから10年半の歳月の流れと共に皆さんは楽しみながら個性豊かな作品になっています。

静かに咲き無言で散る、色とりどりのお花を愛でる心を受け入れる優しいグループホームの方々でした。

今回は、GHいずみで10年以上利用者を生け花のご指導をいただいている青山美明様よりお話をいただきました。

泉の家だより

「泉の歌」絆」

毎年恒例の新年会が今年も催されました。日頃お世話になっているボランティアの方や、泉会の職員、利用者をお招きし、感謝の言葉をお伝えすると共に、新年会らしく昼食は寿司職人の方が目の前で握る寿司バイキング、午後のビンゴゲームを行いました。今回は「泉の家のテーマソングを作ろう」という事で、生活介護の利用者から「泉の家といえは?」をテーマに言葉を集めました。毎週1回ピアノボランティアで来て下さっている野澤順子さんにご協力頂き、その言葉から作詞・作曲を制作して下さいました。曲名は利用者が決めた「泉の歌」絆」になりました。

新年会の最後に「泉の歌」絆」を職員と利用者で心をこめて歌いました。来年度は就

あかるいへやには
笑顔の仲間と
にぎやかな 笑いこえ
ひびきわたる

たのしい活動も
みんなでのしむの
おいしい給食のあとは
ブース・カフェでお茶をしよう

旅行も 新年会も
わくわく 行事がたくさん

いずみへの道は
あたたかくなる道のり
だからみんなで歌おう 泉の歌を

泉の歌～絆～

2016年度 法人理念研修

11月19日に全職員を対象とした法人理念研修を実施しました。テーマは「障害者虐待の防止と対応について」です。法人理念について理事長より講義を受けました。「寛容と忍耐について」聖書を交えて講義をされ、「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなた方も人にしなさい」(マタイによる福音書)これを継続するには強い気持ちが必要とされるというお話でした。「寛容」について再確認する機会となりました。

その後、『障害者虐待』のDV(Dある施設の、様々な現場での取り組みとコメント)視聴後、7グループで話し合いました。

どのグループも率直な意見が多く出ました。日常の支援で職員の間になる言葉使いや態度にどのようになら声掛けすればいいのか悩んでしまう、自身の対応についての疑問、大切だと思いがらじつくり



理事長の講話

と検討できる機会がないなど、どの職員も真摯にこのテーマと向き合い、利用者に尊敬を持ちつつ、支援していることが伺えました。事業所での支援は、チームでの支援が主となります。チームで情報の共有や、解釈・感じ方を確認する機会を持ちながら、利用者とのズレ、職員間でのズレを修正しつつ、利用者の支援をしていきたいと強く感じさせる研修でした。

(上原 絹代)

2017年4月～7月各事業所の予定表

| 行事 | 販売会 |
|--------------------------|----------------------------|
| 5月・6月 一泊旅行(泉の家) | 4/1(土)さくら祭り(岡本・分場) |
| 5月 日帰り旅行(岡本) | 4月 ヤ・エまつり(分場) |
| 6/15(木)～6/16(金) 一泊旅行(岡本) | 4/12(水)せたがや日赤のつどい(岡本・分場) |
| 7/13(木)～7/14(金) 一泊旅行(岡本) | 4/29(土)花みず木フェスティバル(泉の家・岡本) |
| | 5月 環境フェスタ(泉の家) |
| | 7月 桜丘小学校こどもまつり(分場) |
| | 7月 友愛十字会納涼祭(分場) |

予定は変更する可能性があります。行事・販売会については各事業所にお問合せください。

* 社会福祉法人 泉会 *

| | |
|---|--|
| <p>法人本部 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 泉の家 ☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463 izumi@izumikai.jp</p> <p>日の出舎 〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番 就労日の出舎 ☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205 相談日の出舎 info@hinodesha.org</p> <p>グループホーム 〒197-0804 あきる野市秋川2-3-1 のぞみ ☎042(533)3608 ☎042(533)3609 いずみ 〒197-0825 あきる野市雨間322-12 ☎・☎042(550)9083</p> | <p>岡本福祉作業ホーム 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号 ☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976 okamoto@izumikai.jp</p> <p>玉堤分場 〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号 ☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433 tamatutumi@izumikai.jp</p> <p>相談支援センター soudan-okamoto@izumikai.jp おかもと</p> |
|---|--|

編集後記

今年の冬は「最強寒波」に見舞われ、日の出エリアも普段の冬より寒さが身に染みしました、暖かな春が待ち遠しいですね。 日の出舎 三上

編集人 澤田 裕子
 発行所 障害者団体定期刊行物協会 頒備五十円
 〒157-0072
 東京都世田谷区祖師谷3-1-17
 ヴェルドゥーラ祖師谷
 社会福祉法人 泉会